【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年5月2日(2024.5.2)

【国際公開番号】WO2021/214008
【公表番号】特表2023-522095(P2023-522095A)
【公表日】令和5年5月26日(2023.5.26)
【年通号数】公開公報(特許)2023-097
【出願番号】特願2022-563354(P2022-563354)
【国際特許分類】
A23L 27/00(2016.01)
A23L 2/38(2021.01)
A23L 2/00(2006.01)
A23L 2/60(2006.01)
【FI】
A23L 27/00 101A
A23L 27/00 E
A23L 2/38 A
A23L 2/00 G
A23L 2/00 B
A23L 2/60

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月19日(2024.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ｉ）レバウジオシドＭ、
（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および
（ｉｉｉ）有効量の味覚修飾物質、
を含む甘味を修飾する組成物であって、ここで甘味を修飾する組成物中に存在する該グルコシル化ステビオールグリコシドの量は、甘味を修飾する組成物中に存在するレバウジオシドＭの量よりも多い、前記組成物。
【請求項２】
甘味を修飾する組成物中のレバウジオシドＭのグルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、約１：１から約１：１．５までである、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
甘味を修飾する組成物中のレバウジオシドＭのグルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、１：１．１、１：１．２、１：１．３、１：１．４および１：１．５からなる群から選択される、請求項２に記載の組成物。
【請求項４】
甘味を修飾する組成物中のレバウジオシドＭのグルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、１：１．２である、請求項３に記載の組成物。
【請求項５】
グルコシル化ステビオールグリコシドが、グルコシル化ステビオシド、グルコシル化レバウジオシドＡ、グルコシル化レバウジオシドＢ、グルコシル化レバウジオシドＣ、グル

コシル化レバウジオシドＤ、グルコシル化レバウジオシドＥ、グルコシル化レバウジオシドＦ、グルコシル化レバウジオシドＧ、グルコシル化レバウジオシドＨ、グルコシル化レバウジオシドＩ、グルコシル化レバウジオシドＪ、グルコシル化レバウジオシドＫ、グルコシル化レバウジオシドＬ、グルコシル化レバウジオシドＭ、グルコシル化レバウジオシドＮ、グルコシル化レバウジオシドＯ、グルコシル化ズルコシドＡ、グルコシル化ズルコシドＢ、グルコシル化ルブソシド、Stevia rebaudianaに由来するいずれか他のグルコシル化ステビオールグリコシドおよびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項６】

甘味を修飾する組成物が、甘味を修飾する組成物不在下における甘味が付与された組成物の１以上の甘味特徴（単数または複数）と比較して、甘味が付与された組成物の夫々の甘味特徴（単数または複数）を改善する、請求項１に記載の組成物。

【請求項７】

甘味を修飾する組成物が、甘味を修飾する組成物不在下における甘味が付与された組成物のアップフロントの甘味と比較して、甘味が付与された組成物のアップフロントの甘味を改善する、請求項６に記載の組成物。

【請求項８】

甘味を修飾する組成物が、甘味を修飾する組成物不在下における甘味が付与された組成物の苦みのあるオフノートの風味と比較して、甘味が付与された組成物の苦みのあるオフノートの風味を弱める、請求項１に記載の組成物。

【請求項９】

甘味を修飾する組成物が、甘味を修飾する組成物不在下における甘味が付与された組成物の乾いた、および／または渋い口当たりと比較して、甘味が付与された組成物の乾いた、および／または渋い口当たりを弱める、請求項１に記載の組成物。

【請求項１０】

少なくとも１の甘味料、および

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）有効量の味覚修飾物質を含む組成物、

を含む甘味が付与された組成物であって、

ここで（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）有効量の味覚修飾物質を含む組成物中に存在する該グルコシル化ステビオールグリコシドの量が、（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む組成物中に存在するレバウジオシドＭの量よりも多い、前記甘味が付与された組成物。

【請求項１１】

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む該組成物中の該レバウジオシドＭの該グルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、約１：１から約１：１．５までである、請求項１０に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１２】

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む該組成物中の該レバウジオシドＭの該グルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、１：１．１、１：１．２、１：１．３、１：１．４および１：１．５からなる群から選択される、請求項１１に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１３】

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む該組成物中の該レバウジオシドＭの該グルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、１：１．２である、請求項１２に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１４】

グルコシル化ステビオールグリコシドが、グルコシル化ステビオシド、グルコシル化レバウジオシドＡ、グルコシル化レバウジオシドＢ、グルコシル化レバウジオシドＣ、グルコシル化レバウジオシドＤ、グルコシル化レバウジオシドＥ、グルコシル化レバウジオシドＦ、グルコシル化レバウジオシドＧ、グルコシル化レバウジオシドＨ、グルコシル化レバウジオシドＩ、グルコシル化レバウジオシドＪ、グルコシル化レバウジオシドＫ、グルコシル化レバウジオシドＬ、グルコシル化レバウジオシドＭ、グルコシル化レバウジオシドＮ、グルコシル化レバウジオシドＯ、グルコシル化ズルコシドＡ、グルコシル化ズルコシドＢ、グルコシル化ルブソシド、Stevia rebaudianaに由来するいずれの他のグルコシル化ステビオールグリコシドおよびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項１０に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１５】

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む組成物が、（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む組成物不在下における甘味が付与された組成物の１以上の甘味特徴（単数または複数）と比較して、甘味が付与された組成物の夫々の甘味特徴（単数または複数）を改善する、請求項１０に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１６】

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む組成物が、（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む組成物不在下における甘味が付与された組成物のアップフロントの甘味と比較して、甘味が付与された組成物のアップフロントの甘味を改善する、請求項１５に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１７】

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む組成物が、（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）味覚修飾物質を含む組成物不在下における甘味が付与された組成物の乾いた、および／または渋い口当たりと比較して、甘味が付与された組成物の乾いた、および／または渋い口当たりを弱める、請求項１０に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１８】

少なくとも１の甘味料が、スクロース、フルクトース、グルコース、キシロース、アラビノース、ラムノース、糖アルコール、デンプンシロップ、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項１０に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項１９】

糖アルコールが、エリスリトール、キシリトール、マンニトール、ソルビトールおよびイノシトールからなる群から選択される、請求項１８に記載の甘味が付与された組成物。

【請求項２０】

その甘味認識閾値の、またはそれを上回る量、および／または約１．５％（ｗ／ｖ）スクロース当量と同等かまたはそれより多い甘味を有する量で存在する少なくとも１の甘味料を含む食品または飲料ベース組成物、および

（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）有効量のオフノートマスキングおよび口当たり改善成分（ここで組成物中に存在する該グルコシル化ステビオールグリコシドの量が、組成物中に存在するレバウジオシドＭの量よりも多い）を含む組成物、

を含む、甘味が付与された消耗品。

【請求項２１】

組成物中のレバウジオシドＭのグルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、約１：１から約１：１．５までである、請求項２０に記載の甘味が付与された消耗品。

【請求項２２】

組成物中のレバウジオシドＭのグルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、１：１．１、１：１．２、１：１．３、１：１．４および１：１．５からなる群から選択される、請求項２１に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項２３】
組成物中のレバウジオシドＭのグルコシル化ステビオールグリコシドに対する比率が、１：１．２である、請求項２２に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項２４】
グルコシル化ステビオールグリコシドが、グルコシル化ステビオシド、グルコシル化レバウジオシドＡ、グルコシル化レバウジオシドＢ、グルコシル化レバウジオシドＣ、グルコシル化レバウジオシドＤ、グルコシル化レバウジオシドＥ、グルコシル化レバウジオシドＦ、グルコシル化レバウジオシドＧ、グルコシル化レバウジオシドＨ、グルコシル化レバウジオシドＩ、グルコシル化レバウジオシドＪ、グルコシル化レバウジオシドＫ、グルコシル化レバウジオシドＬ、グルコシル化レバウジオシドＭ、グルコシル化レバウジオシドＮ、グルコシル化レバウジオシドＯ、グルコシル化ズルコシドＡ、グルコシル化ズルコシドＢ、グルコシル化ルブソシド、Stevia rebaudianaに由来するいずれの他のグルコシル化ステビオールグリコシドおよびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項２０に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項２５】
消耗品が、炭酸飲料の総体積に基づき約２．０体積パーセント～約３．５体積パーセントの二酸化炭素ガス含量を有する炭酸飲料を含む、請求項２０に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項２６】
組成物が、組成物不在下における甘味が付与された消耗品の１以上の甘味特徴（単数または複数）と比較して、甘味が付与された消耗品の夫々の甘味特徴（単数または複数）を改善する、請求項２０に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項２７】
組成物が、組成物不在下における甘味が付与された消耗品のアップフロントの甘味と比較して、甘味が付与された消耗品のアップフロントの甘味を改善する、請求項２６に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項２８】
甘味を修飾する組成物が、組成物不在下における甘味が付与された消耗品の苦みのあるオフノートの風味と比較して、甘味が付与された消耗品の苦みのあるオフノートの風味を弱める、請求項２０に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項２９】
組成物が、組成物不在下における甘味が付与された消耗品の乾いた、および／または渋い口当たりと比較して、甘味が付与された消耗品の乾いた、および／または渋い口当たりを弱める、請求項２０に記載の甘味が付与された消耗品。
【請求項３０】
甘味が付与された組成物の甘味を増強する方法であって、
その甘味認識閾値の、またはそれを上回る量、および／または約１．５％（ｗ／ｖ）スクロース当量と同等かまたはそれより多い甘味を有する量で存在する少なくとも１の甘味料を含むベース組成物を提供すること、および
（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）有効量の味覚修飾物質を含む組成物を該ベース組成物に添加すること（ここで組成物中に存在する該グルコシル化ステビオールグリコシドの量は、組成物中に存在するレバウジオシドＭの量よりも多い）、
を含む、前記方法。
【請求項３１】
甘味が付与された組成物中の糖の量を低減する方法であって、
その甘味認識閾値で、またはそれより上回る量で存在する、および／または約１．５

％（ｗ／ｖ）スクロース当量と同等かまたはそれより多い甘味を有する少なくとも１の甘味料を含むベース組成物を提供すること、および
（ｉ）レバウジオシドＭ、（ｉｉ）グルコシル化ステビオールグリコシド、および（ｉｉｉ）有効量の味覚修飾物質を含む組成物を該ベース組成物に添加すること（ここで組成物中に存在する該グルコシル化ステビオールグリコシドの量は、組成物中に存在するレバウジオシドＭの量よりも多い）、
を含む、前記方法。
【請求項３２】
甘味が付与された組成物中の置き換えられた糖の量が、約３０パーセントから約１００パーセントまでである、請求項３１に記載の方法。
【請求項３３】
甘味が付与された組成物中の置き換えられた糖の量が、約３０パーセントから約７０パーセントまでである、請求項３２に記載の方法。
【請求項３４】
甘味が付与された組成物中の置き換えられた糖の量が、約５０パーセントから約１００パーセントまでである、請求項３２に記載の方法。
【請求項３５】
甘味が付与された組成物中の置き換えられた糖の量が、約５０パーセントから約８０パーセントまでである、請求項３４に記載の方法。
【請求項３６】
甘味が付与された組成物中の置き換えられた糖の量が、約５０パーセントから約７０パーセントまでである、請求項３５に記載の方法。
【請求項３７】
該ルコシル化ステビオールグリコシドが、少なくとも１のグルコシル化ステビオールグリコシド、および、ステビオシド、レバウジオシドＡ、レバウジオシドＢ、レバウジオシドＣ、レバウジオシドＤ、レバウジオシドＥ、レバウジオシドＦ、レバウジオシドＧ、レバウジオシドＨ、レバウジオシドＩ、レバウジオシドＪ、レバウジオシドＫ、レバウジオシドＬ、レバウジオシドＭ、レバウジオシドＮ、レバウジオシドＯ、ズルコシドＡ、ズルコシドＢ、ルブソシド、Stevia rebaudianaに由来するいずれか他の残留ステビオールグリコシドおよびそれらの混合物からなる群から選択される少なくとも１の残留ステビオールグリコシドのブレンドを含む、請求項５に記載の組成物。
【請求項３８】
グルコシル化ステビオールグリコシドが、少なくとも１のグルコシル化ステビオールグリコシド、および少なくとも１の残留ステビオールグリコシドが、ステビオシド、レバウジオシドＡ、レバウジオシドＢ、レバウジオシドＣ、レバウジオシドＤ、レバウジオシドＥ、レバウジオシドＦ、レバウジオシドＧ、レバウジオシドＨ、レバウジオシドＩ、レバウジオシドＪ、レバウジオシドＫ、レバウジオシドＬ、レバウジオシドＭ、レバウジオシドＮ、レバウジオシドＯ、ズルコシドＡ、ズルコシドＢ、ルブソシド、Stevia rebaudianaに由来するいずれか他の残留ステビオールグリコシドおよびそれらの混合物からなる群から選択される少なくとも１の残留ステビオールグリコシドのブレンドを含む、請求項１４に記載の甘味が付与された組成物。
【請求項３９】
グルコシル化ステビオールグリコシドが、少なくとも１のグルコシル化ステビオールグリコシド、およびステビオシド、レバウジオシドＡ、レバウジオシドＢ、レバウジオシドＣ、レバウジオシドＤ、レバウジオシドＥ、レバウジオシドＦ、レバウジオシドＧ、レバウジオシドＨ、レバウジオシドＩ、レバウジオシドＪ、レバウジオシドＫ、レバウジオシドＬ、レバウジオシドＭ、レバウジオシドＮ、レバウジオシドＯ、ズルコシドＡ、ズルコシドＢ、ルブソシド、Stevia rebaudianaに由来するいずれか他の残留ステビオールグリコシドおよびそれらの混合物からなる群から選択される少なくとも１の残留ステビオールグリコシドのブレンドを含む、請求項２４に記載の甘味が付与された消耗品。